

# TOWS 分析レポート：警備業界（交通・雑踏）

---

## 【S-O 戦略】強み×機会

1. 地域密着の信頼を活かし、再開発地域の防災・警備の包括提案を行う（例：地域イベント警備＋高齢者見守りパッケージ）。
2. 蓄積された雑踏対応ノウハウを活かして、大型国際イベントの入札において差別化。
3. 公的制度との親和性を活かし、自治体との防災協定・BCP 対策支援など新しい収益源を開拓。
4. 現場判断力を活かし、AI では補えない柔軟対応可能な「ハイブリッド型警備」のモデルを構築。

## 【W-O 戦略】弱み×機会

1. 若手人材定着のため、スマート制服・可変勤務制など「Z 世代仕様の働き方改革」を導入。
2. 技術導入の遅れを逆手に取り、AI ロボ導入を前提とした「最適配置 AI×人警備」の新ビジネスモデルへ転換。
3. 見守り・福祉分野との融合を契機に、従来の「警備＝防御」から「ケア型サービス業」への業態進化。
4. イベントやインバウンド需要回復にあわせ、外国語教育・短期外国人向け接遇研修の導入。

## 【S-T 戦略】強み×脅威

1. 地域との関係性を活かして、AI 警備導入時も「顔が見える安心」要素を保持するハイブリッドサービスで競合との差別化。
2. 経験則に基づいた災害対応や緊急警備サービスを「ノウハウ商品」として他社へライセンス展開。
3. 公的な法制度の強みを活かし、AI・ロボ警備の法整備に向けて業界団体主導で政策提言を行う。

## 【W-T 戦略】弱み×脅威

1. 高齢労働者に対する健康モニタリング導入により、事故・労災リスクの低減と社会的信頼確保を両立。
2. 技術不足を補うため、他業界（IT、スタートアップ等）とのアライアンスによる共同開発を推進。
3. 離職率改善のため、福利厚生制度に地域連携型の健康プログラム（地域ジムとの提携等）を導入。
4. 劣悪な労働環境改善に加え、心理的安全性を高めるナラティブ共有やメンタルサポート体制の導入。